

UV INKJET PRINTER

JFX シリーズ

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

目次

安全にお使いいただくために	2
使用環境とお手入れについて	2
お手入れ上のご注意	2
テーブル、外装のお手入れ	2
画質不良が解消されない場合は	3
作図不良の例	3
ワイパのクリーニング	4
ノズル吐出不良の回復方法	6
廃インクタンクのインクが溜まったら	7
廃インクタンクのインクを処分する	7
作図中のインク滴のポタ落ちを防ぐ	8
ヘッドガードプレートのクリーニング	8
保管方法について	10
不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管	10
メディアの保管	10
インクカートリッジの保管	10

安全にお使いいただくために

使用環境とお手入れについて

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 紫外線硬化インク（UV インク）を使用するので、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- 使用環境温度は +15℃～ +30℃です。これより低温／高温でのご使用は避けてください。

お手入れ上のご注意



- 本装置は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。



- 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- UV LED の温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。



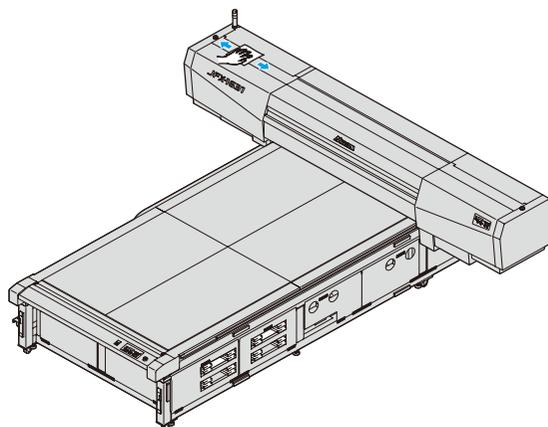
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、吸引ノズルなどへは、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



- 本装置は紫外線硬化インク（UV インク）を使用するプリンタです。お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着して行ってください。

テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。



画質不良が解消されない場合は

次のような場合、洗浄キットを使って吸引ノズルのクリーニングをしてください。

- ・ステーション内部の汚れがひどい場合
- ・ヘッドのクリーニング機能（☞取扱説明書 P.2-8）を実行しても画質不良が解消されない場合

洗浄キットの内容	・メンテナンス用洗浄液（SPC-0568）		
	・手袋	・清掃棒（SPC-0384）	・ゴーグル



- ・清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

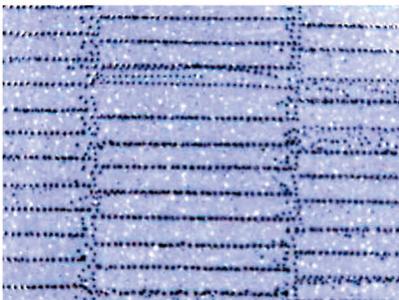


- ・クリーニングするとき、アルコール、水等は使用しないでください。
- ・汚れ、曲がりかひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- ・専用の清掃棒をお求めの場合は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本装置の「テスト作図」で確認することができます。（☞取扱説明書 P.2-7）

飛行曲がり



ノズル抜け



ポタ落ち



しびき



ワイパのクリーニング

1 電源を入れる

2 右メンテナンスカバーを開ける

- ネジ (2箇所) を外し、右メンテナンスカバーを開けます。

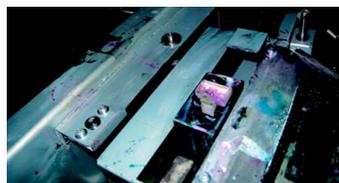


3 メンテナンスメニューの“ステーションメンテ”を選ぶ

- (1) ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して、[ステーションメンテ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

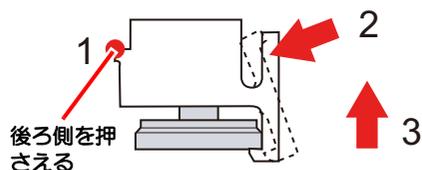
4 **▲** **▼** を押して [ワイパコウカン] を選び、**ENTER** キーを押す

- キャリッジが正面左カバー付近へ移動します。
- ワイパが手前に移動します。

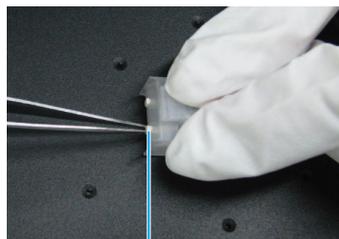


5 吸引ノズル Assy を取り外す

- (1) 吸引ノズル Assy の後ろ側を押さえ
- (2) 手前の突起を後ろに押し込みながら
- (3) 上に引き上げる



6 ピンセットでワイパ M を取り外す

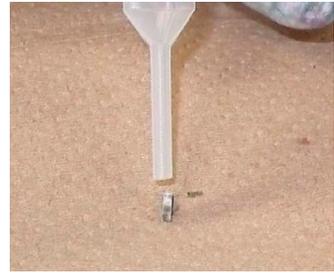


ワイパ M

7

ワイパMに洗浄液を数滴たらし、不織布で清掃する

- 紙タオルなど、ホコリや繊維が残ってしまうものは使用しないでください。
- ワイパMに著しい変形や摩耗が見られる場合は、新しいものに交換してください。



8

吸引ノズルの内側を確認し、汚れている場合は清掃する

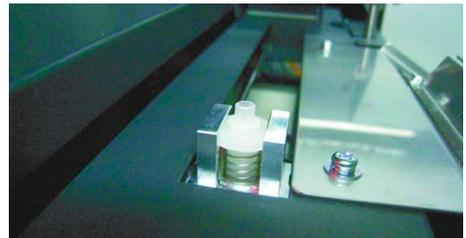
- (1) 硬化したインクや付着している汚れを、先の細い棒で取り除く
- (2) スポイトを使って吸引ノズルの内側に洗浄液を数滴たらし、不織布で清掃する



9

吸引ノズル下のOリング周辺を確認し、汚れている場合は清掃する

- Oリング周辺には、未硬化のインクが付着しています。不織布で清掃してください。



10

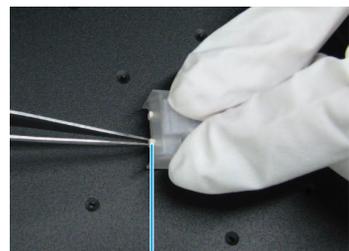
ピンセットでOリングを取り外し、清掃する



11

ワイパMを吸引ノズルに取り付ける

- ワイパMと吸引ノズルの高さが合うようにしてください。

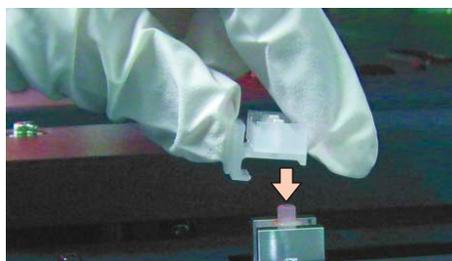


ワイパM

12

吸引ノズル Assy を吸引ノズル下に強く押しつけるようにして取り付ける

- 取り付け後は、ワイパ M が 0.5mm 程度上にはみ出します。



13

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。

14

終了するとき、**END** キーを数回押す

ノズル吐出不良の回復方法

本装置を長時間ご使用にならなかった場合や、環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。



- これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

1

日常のお手入れを行う

- 本文に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2

ヘッドのクリーニングをする (☞ 取扱説明書 P.2-8)

- 前述のお手入れを行った後、取扱説明書の手順にしたがってクリーニングを実行してください。
- クリーニングとテスト作図を繰り返し、ノズル抜けが無くなる事を確認します。



- これまでの操作でノズル抜けが回復しない場合には、弊社または本装置をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドクリーニングやフラッシングなどで使用したインクは、廃インクトレイに溜まります。廃インクトレイが一杯になると、ディスプレイにエラーを表示してお知らせします。エラーが表示されたら、次の手順で廃インクを廃インクタンクに移してください。

- 廃インクがトレイに一杯になると、右のエラーを表示します。

ERROR 604
!ハイインク FULL

廃インクタンクのインクを処分する

1 廃インクタンクを取り付ける



2 コックを回す

- ・ 廃インクトレイに溜まった廃インクが、廃インクタンクに移動します。



3 ディスプレイのエラー表示が消えたら、廃インクタンクを取り外す

4 廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

- ・ 下に紙を敷いてから廃インクを移してください。(インクで床を汚さないように)
- ・ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



- ・ 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ・ 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



- ・ ヘッドクリーニング中などのインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- ・ 廃インクタンクを取り扱うときは、タンクの口をティッシュで押さえるなどして、廃インクが飛ばないようにご注意ください。

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐ

ヘッドガードプレートのクリーニング

キャリッジ下面のヘッドガードプレートには、作図によるインク滴が発生することがあります。インク滴のボタ落ちによりメディアが汚れたり、作図不良の原因となりますので、定期的にキャリッジ下面をクリーニングしてください。

クリーニングに必要なもの	•メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)
	•清掃棒 (SPC-0384) •手袋



- 指定以外の部品を外さないでください。

1

電源を入れる

- 初期動作後、ローカルモードになります。

2

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ヒュー <ENT>

3

▲ **▼** を押して [メンテナ ンス] を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4

ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

5

ENTER キーを押す

- キャリッジが待機位置から左側の正面左カバー付近へ、自動的に移動します。

ステーション メンテ
メンテ : キャリッジ* アウト

6

ENTER キーを押す

- 清掃がしやすい位置まで、キャリッジが下がります。
- 移動が完了すると、手動でキャリッジの移動ができるようになります。

7

清掃棒に洗浄液をしみこませ、
ヘッドの側面を清掃する

- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



8

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

保管方法について

不凍液・メンテナンス用洗淨液の保管

不凍液、メンテナンス用洗淨液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

メディアの保管

メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

インクカートリッジの保管

直射日光があたり、湿度の高くない場所に保管してください。

精細な製品ですから、落下させたりぶつけないでください。

インクカートリッジに装着されている基板（右写真）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。



